

2017.05.16

サイバーリスクニュース <号外／速報>

世界同時サイバー攻撃

5月13日未明（日本時間）、大規模なサイバー攻撃が世界各地で一斉に発生したことが確認された。本資料では、リリースされた情報に基づき事態の概要と企業における対策のポイントをとりまとめた。

1. 事態の概要

5月13日未明（日本時間）に大規模なサイバー攻撃が世界各地で一斉に発生。被害は約150カ国で起きており、件数は20万件に達するものと見込まれている。近年では最大規模の被害が出る可能性がある。5月14日時点での独立行政法人情報処理推進機構の発表は以下のとおり。

- 2017年3月15日（日本時間）に Microsoft 製品に関する脆弱性の修正プログラム MS17-010 が公表された。
- この脆弱性がランサムウェアの感染に悪用され国内を含め世界各国で被害が確認、英国では医療機関において業務に支障が出るなどの深刻な影響が発生している。
- ランサムウェアに感染するとコンピュータのファイルが暗号化され、コンピュータが使用できない被害が発生する可能性がある。

報道等からの情報によると、確認されている主な被害は以下のとおりであり、コンピュータをロックし、解除のために300ドル（約3万4千円）から600ドル（約6万8千円）相当の仮想通貨「ビットコイン」を支払うよう求める表示が出ている。

【主な被害】

英国	・日本の自動車メーカーの現地工場で生産に影響 ・国営医療サービス事業のシステムが標的となり、一部病院で手術中止等の影響
フランス	・自動車大手メーカーが攻撃の影響で製造を一部停止
スペイン	・通信大手の社内システムに攻撃
ロシア	・内務省のコンピュータ約1,000台に攻撃、捜査機関や大手携帯会社にも被害
米国	・運送大手の社内システムに攻撃

2. 企業における対策のポイント

- 本攻撃を踏まえ、以下の対策を行うことをお勧めする。
 - (1) 適宜最新の修正プログラムを適用する。
 - (2) 各ウイルス対策ソフトをアップデートする。
- また、全従業員に対して改めて以下の注意事項喚起を行うことをお勧めする。
 - (1) 不審なメールの添付ファイルや本文中のURLは絶対にクリックせず、そのままメールを削除する。
 - (2) 業務に真に必要なWEBサイト以外アクセスしないよう徹底する。
 - (3) 万一不審なメールの添付ファイルを開いたりURLリンクをクリックしたり、PCの動作に不審な挙動が見られた場合は以下のとおり対応する。
 - ① PCの対応
PCのネットワーク接続の特性に応じて、速やかにログオフまたは電源OFFを行う。
 - ② 報告、連絡
上司およびシステム管理責任者へ直ちに報告する。

以上